

第10回 健康づくり推進大会

平成の健康づくり



町民会館大ホールで行なわれた健康づくり推進大会

健康づくり標語・町長賞

健康は自分で作り守るもの

竹内道子(川永田)

テーマ「平成の健康づくり」

第10回 伊方町健康づくり推進大会

主催 伊方町健康づくり推進協議会

「明るくいきぬくために」

発行所
伊方町
愛媛県西宇和郡伊方町湊浦
〒796-03 ☎伊方局38-0211
編集
総務課
印刷所
豊豫社
八幡浜市松柏 ☎22-0144

4月の紙面

二面……平成元年度当初予算
三面……第39回自醸酒品評会
町職員人事異動
四面……犬の登録と予防注射
歳時記「新入社員」

「平成の健康づくり」をテーマに、第十回伊方町健康づくり推進大会が三月十九日伊方町民会館大ホールで開催され、子供からお年寄りまで三百五十人が出席して行なわれました。

大会は、福田伊方町健康づくり推進協議会長のあいさつにはじまり、総数二百九十五名の応募の中から選ばれた健康づくり標語入賞者の表彰、また来賓祝辞として八幡浜中央保健所長、八幡浜医師会長、町議会議長のお祝いのことばがありました。

つづいて西野美恵先生指導による健康体操が町商工会婦人部ほかの皆さんにより披露されると参加者全員が体を動かして体操を楽しんでいました。

また「明るくいきぬくために」と題して、元NHKアナウンサー青木一雄先生の特別講演があり、「人間は生れた時から人の世話になり、人との出合いを繰り返しながら人生を歩むものである。だいたいなのは、お互いつながりである」と心の健康について講演されました。

最後に、健康な町、幸せな町づくり宣言をテーマにライオンズクラブ他七団体の代表者が健康スピーチを行ない記念大会を閉幕しました。

健康づくり標語入賞者

▽町長賞
竹内道子(川永田)



▽町議会議長賞

篠沢タケ子(川永田)

▽健康づくり推進協議会長賞

堀口カメヲ(中之浜)

▽入選

神山由佐江(田之浦)

渡辺浩安(仁田之浜)

井上千芳(豊之浦)

山崎美喜(豊之浦)

菊池タツ子(湊浦)

▽佳作

亀井稲穂(中浦)

広野ナツコ(畑)

山本 優(中浦)

堀口勝久(中之浜)

井上多可子(豊之浦)

川口実一(二見)

井桜ヨシ子(古屋敷)

森元フミエ(奥)

矢野佐一郎(中浦)

畑中律子(川永田)

改定版伊方町誌 申し込み受付中

町制施行三十周年記念事業として六十二年九月に発刊しました「改訂版伊方町誌」皆さまのご家庭では購入されたでしょうか。

私達の祖先の残した歴史と文化を正しく認識し、将来の発展に資するためにもご家庭で活用いただければ幸いです。申し込みを希望される方は、役場総務課までお問い合わせください。

【発売価格】(消費税込)
○町内者 千五百四十五円
○町外者(送料込) 三千九十九円

就任ごあいさつ

伊方町議会議長 菊池 伝治
(畑)・55歳

成に改まり、今まさにその元年度であります。昭和の終り頃から言われて久しい高齢化・長寿社会、国際化情報化のうねりは更に大きくなるものと思えます。

町にとりましては、このような社会情勢に適確に対応がなされて行かなければなりませんし、かねてから準備が進められておりますところの、八西地域の広域有線テレビのことが、いよいよ元年度は放送網の構築の段階に入ることになっており、ご同慶に思う次第であります。

更にまた、住民福祉の向上の他産業振興基盤の整備や公共施設の整備充実など町政の上に多くの課題がありますが、融和な議会の運営を基調とし議会としての責務を果して行きたいと考えております。

今後とも、町民の皆様のご厚情あふれるご指導とごべんたつをお願い申し上げます。まして、ごあいさつといたします。

〔略歴〕
昭和九年一月一日生まれ。副議長、文教厚生委員長歴任。当選三回。

こんにちは！ 駐在さん

警察官の異動があり、伊方町の駐在さんが一人替わりになりました。新任の駐在さんは藤原さんです。



藤原敏文 巡查部長

【伊方】
ひとこと…県警察本部から伊方駐在所へ来まして活動が見えます。土地の事情に不慣れですのでご協力をお願いします。北宇和郡津島町出身・48歳

豊かで住みよい町づくりに42億円

平成元年度の当初予算

一般会計は6年ぶりの増額に

三月の定例町議会で、平成元年度の町づくり予算が決まりました。

これを見ますと、一般会計予算は二十七億八千九百五十四万円。特別会計を含めると総額四十二億六千三百五十六万円です。全体で八千万円の増、一般会計では五年連続の減額がストップし、二千九百万円近い増額予算となりました。

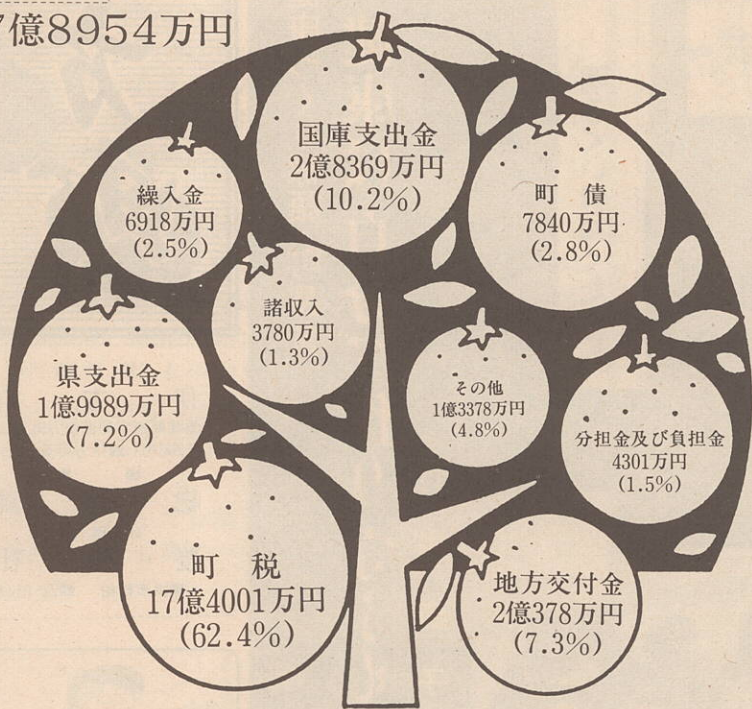
一般会計

地方交付税交付団体に

項目別に見ると、最も大きな財源は町税で十七億四千一百万円、全体の六二・四パーセントを占めています。しかし、町税の中の大半が伊方発電所一・二号機関係の固定資産税

入るお金

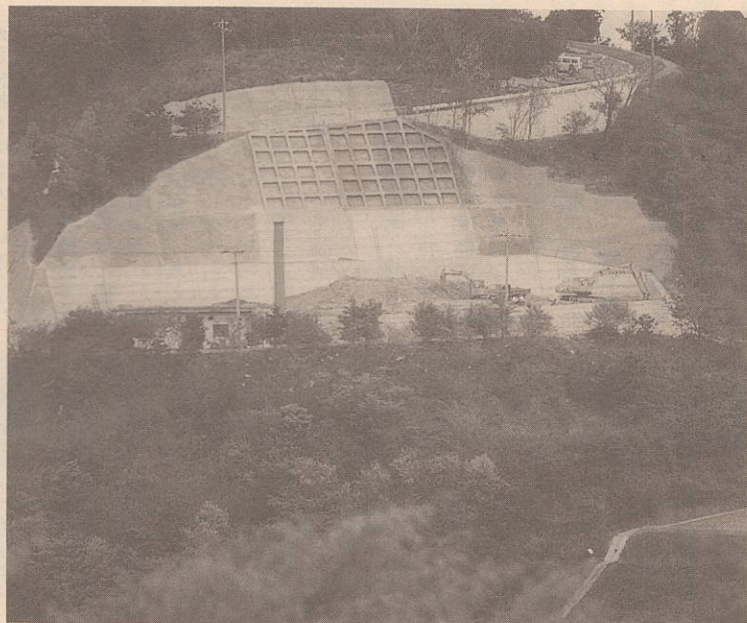
27億8954万円



使うお金

火葬場の改築

今年も活性化と若者の定住化を目指す。町税の増額により、今年も活性化と若者の定住化を目指す。町税の増額により、今年も活性化と若者の定住化を目指す。



用地造成が終わり改築を計画している火葬場

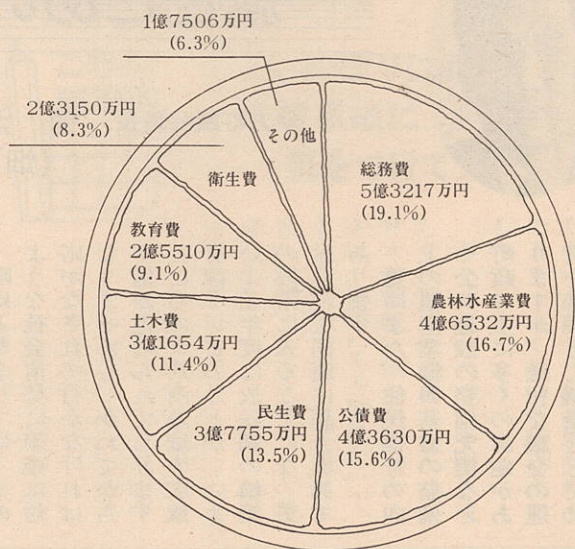
校施設の整備をするために国などから借りる町債が七千八百四十万円、繰入金、分担金及び負担金などの順になっています。

特別会計

国保会計は加入者の保険料負担を軽減するために一般会計から約四千四百万円繰り入れました。事業と直診勘定合わせて七億五千五百六十六万円、昨年より約四千八百万円増えました。

使うお金

27億8954万円



水道事業会計は南予用水受け入れの最初の年で、水の受水費（購入費）の計上により四千三百万円増え一億六千六百七十七万円になりました。

農家の代表15人 新農業委員さん決まる

新農業委員さん決まる

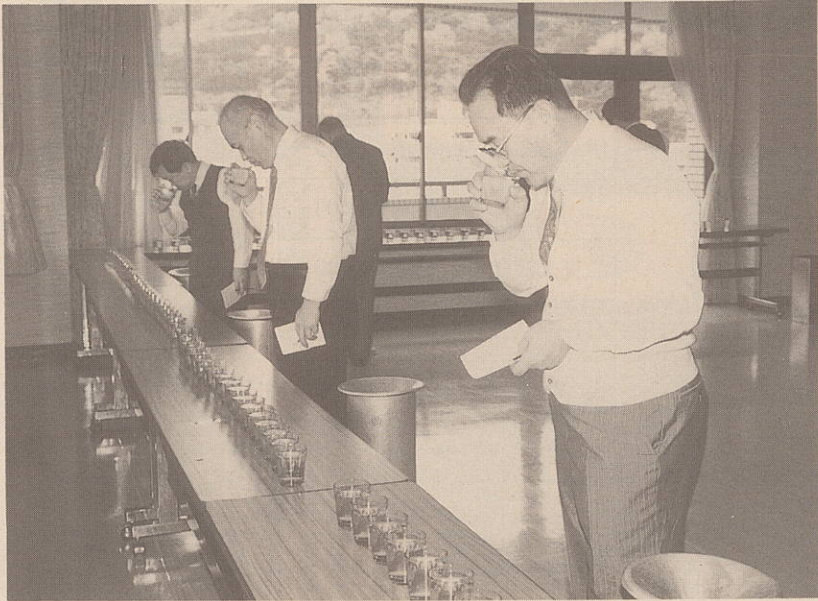
任期満了に伴う農業委員さんの改選が行われ、新しい農業委員さん十五人が決まりました。

農業委員さんは、選挙によって選ばれた委員さん十人、農業団体から推薦された選任一号委員さん三人、町議会から推薦された選任一号委員さん二人からなっています。

- ▽選挙委員
- 門田清稔(中之浜)
 - 山口盛兼(河内)
 - 加藤惣一(湊浦)
 - 向井愛英(亀浦)
 - 松平康雄(川永田)
 - 井上康敬(豊之浦)
 - 得能政春(畑)
 - 井田芳生(須賀)
 - 山田正明(二見)
 - 鳥津宇佐雄(加周)
- ▽選任一号委員
- 道上 正(仁田之浜)
 - 中川 実之(大浜)
 - 竹場 淳(田之浦)
- ▽選任一号委員
- 福田直吉(川永田)
 - 田中康司(仁田之浜)

新酒の香り漂わせ

第39回 自醸酒品評会



今年も四月六日・七日の両日に亘り伝統を誇る西宇和郡杜氏組合(組合長上田益男)主催の自醸酒品評会が開かれ、優等一位に根来昌則さん(西高知県 南酒造)の清酒「玉の井」が選ばれました。

品評会の部
 ▽優等一位 玉の井
 根来昌則(西)
 ▽優等二位 川 亀

この品評会は大正七年に始まり、今年で三十九回目。伊方杜氏の皆さんが冬期に酒つくりに出かけ、毎年この時期に新酒を持ち寄り、その出来映えを競っているのです。今年も三十の酒造場から百十(昨年より三減)の出品がありました。良い酒とは香り・味・酒を呷いた後の快さ等、バランスの良くとれた酒が良いとのこと。審査には、高松国税局鑑定官室の古市明紀室長ら五人があたり、口にくみながら良いものから三点法で採点、一番、二番と二回審査して十五銘柄が優等酒にさらにこの中から三点が上位に選ばれました。表彰式の後の審査講評の中で、古市審査長は「暖冬で温度管理がむずかしかったが、香りが高く、すっきりした飲みやすい酒」と評していました。

小笠原さんに
 上位入賞の銘柄と杜氏名は次のとおりです。

品評会の部
 ▽一位 小笠原一夫(中浦)
 ▽二位 井上道孝(中浦)
 ▽三位 大村昭男(保内町)
 ▽四位 神野亀継(伊方越)
 ▽五位 根来辰雄(久保)

きき酒は
 袋口清政(大浜)
 ▽優等三位 友白髪
 井上道孝(中浦)
 ▽優等 等

(杜氏のアイウエオ順)
 木正宗(井上藤樹) 小中浦
 日本心(上田益男) 大浜
 鯉の勢(小笠原一夫) 中浦
 京ひな(梶谷幸三郎) 湊浦
 宮の舞(菊池郁生) 河内
 尺間嶽(坂本 守) 小中浦
 大 鏡(崎野唯男) 伊方越
 姫 鶴(田中鶴市) 大浜
 富士白菊(高橋哲夫) 大浜
 梅美人(西平壽衛) 川永田
 雲井橋(根来辰雄) 久保
 千 鳥(吉田 集) 大浜

新しい家族

夫婦で子育て

18

電車の中や駅のホームでは、いろいろな人を見ることができ、

自分自身のことや子供のしつけを考へるのにもいい機会です。あまりジロジロと一人の人を見るのは礼を失うことですが、実に多様な人がいるのです。

座席の右側にも左側にもすき間があつて、自分がどちらかに動けば、前に立っている人が座れるのに、そのことに気がつかない人もいます。荷物をひざの上、あるいは網棚に置かないで、自分のわきに

電車の中の人間像

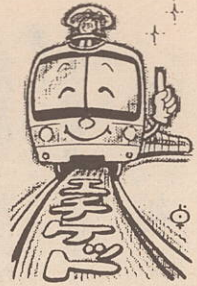
置いて平然としている人もいます。このごろの電車の座席には、中央のシートの色が変えてあつて、そこに一人が座

受性のにぶい人です。混んでいるとき、二人分のつり革を独占している人もいます。電車の最後部から乗って、込んでいる車内をかきわけて、前のほうに移動する人もいます。自分の下車する駅のホームの都合なのでしようが、かきわけられる人はあまりいい気持ちではないです。

いたことの一つは、東京では駅で大人が駆けている、というところだつたそうです。遅刻しそうでだからというのが理由でしょうが、ぶつけられたり、突き飛ばされる人もたくさんいます。

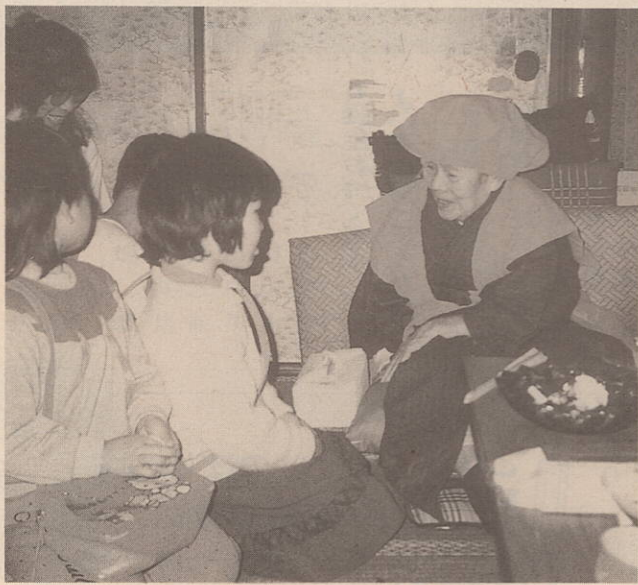
が、自分で表示をみて自分で判断するという自立心を子供のときから身につけたいものです。車内で大きな声で話し、笑う人もまわりの人に不快感を与えることが多いのです。車内やホームでの礼儀、これは他人に迷惑をかけた不快感を与えたりしないということですが、親が子供にモデルを示して教えていくものものひとつです。

東京都立大学教授・心理学 詫摩 武俊



園児がお年寄りを訪問

(伊方保育所)



二月二十日(月)、二十一日(火)に伊方保育所では、年長組の園児と母親クラブ役員による寝たきり老人の友愛訪問を行いました。

この訪問は、お年寄りを大切にすることを養おうと十年前から始められたもので、今年も年長組の園児全員(四十一名)が参加。伊方保育所通園区域内の寝たきりのお年寄り十九名を対象に行われました。

訪問した子供達は、元気よくあいさつをしたり、話しかけたり、肩たたきなどをしてお年寄りに大変喜ばれていました。また、プレゼントには母親クラブが手芸講座で手作りしたティッシュカバーが送られました。

町職員人事異動

四月一日付で町職員の人事異動がありました。今後ともよろしく願っています。

【政策局】 主幹・情報化対策班長 末光友幸 情報化対策班長 原子力対策班長 兵頭千尋(総務課事務専門員兼文書広報係長) 特定事業班長 井上島男(原子力対策班長) 主任 堀口幸作(財務課賦課係長) 主任 藤岡敏彦(事務補) 主任 上田玉枝(事務補)

【財務課】 賦課係長 天徳英俊(政策局主任) 主事 谷口良二(事務補)
 【九町診療所】 事務補 志賀一重(総務課)
 【福祉環境課】 生活環境係長 井上憲佳(主事)
 【産業建設課】 農業水利対策室長 川田邦男(政策局農業水利対策班長) 工務第二係長 黒田徳太加(技師)

【中央公民館】 主幹・副館長 亀井清弘(副館長) 係長 井上三郎(主事) 主事 脇田慎弥(事務補)
 【伊方保育所】 主席保母 井田イヨエ(加周保) 保母 井上勢子(保母)
 【九町保育所】 主席保母 亀井成美(主任保母) 保母 赤

【加周保育所】 主任保母 増見郁子(大浜保)
 【豊之浦保育所】 主席保母 大通香代子(主任保母) 主任 保母 二宮富子(伊方保) 調理師 熊谷幸子(大浜保調理師)
 【大浜保育所】 保母 明神千恵(新採)
 【川永田保育所】 主幹・所長 高原由紀子(所長)
 【有寿来保育所】 主席保母 亀井睦子(伊方保主任保母)
 【伊方小学校】 用務員 檜田加代(水ヶ浦小)
 【水ヶ浦小学校】 用務員 松岡貴美子(伊方小)
 【有寿来小学校】 用務員 谷村富美(新採)
 【二見小学校】 用務員 鳥津りか(新採)
 【退職】 上田サチエ(豊之浦保) 橋子ハル(九町診療所) 阿部加代子(有寿来保) 門田麻子(九町保)

歳時記

新入社員

ピカピカの新入社員が目につくシーズンです。学生時代は、ジャンパーにジーパン、スニーカーといった身なりの若者たちが、パリッとしたスーツ姿に変身して職場に向かいます。

最近、女性の新入社員もキャリア・ウーマンらしい雰囲気のカチッとしたスーツを好んで着ています。女性が変わったのは、もちろんファッションだけではありません。男女雇用機会均等法の施行以来、総合職を目指す女性が増え、入社と同時に遠隔地に配属になる女性も珍しくなくなりました。

それにしても、現代の若者はどんな職業感を持っているのでしょうか。総理府の「勤労と生活に関する世論調査(昭和62年7月)」によると、終身雇用は企業、勤労者にとってよい制度だとする人は、20代がもっとも少なく、反対に悪い制度だとする人は20代がもっとも多くなっています。終身雇用に対する考え方が変わってきているようです。

いずれにしても張り切ってスタートした新入社員たち——心身のバランスを崩して「五月病」にかかったりしないよう健康には注意したいものです。



4月7日の「世界保健デー」この日はWHO(世界保健機関)誕生を記念して設けられた日です。今年の世界共通標語は「Let's talk HEALTH! (健康について語ろうの意味)」です。

大阪市西成区津守三丁目五―二八にお住いの高石元重さん(豊之浦出身)から一万円。
神奈川県座間市相模が丘三丁目一六―一にお住いの田中文さん(須賀出身)から一万円。
アメリカ合衆国カリフォルニア州にお住いの志賀義貞さん(田之浦出身)から五万円。
それぞれ広報編集費用にご寄付いただきました。紙上から厚くお礼申し上げます。

君がやがた



●犬を自由に扱える人が連れられてきてください。
●注射をいやがる犬がいますので、首輪をしつかり締め、引綱は丈夫なものを使ってください。
●できるだけ釣り銭のいらないうちからお預りします。

犬の登録と狂犬病予防注射日程表

Table with columns: 実施月日 (Implementation Date), 実施場所 (Implementation Location), 実施時間 (Implementation Time). It lists dates from May 11 to May 12 and various locations like '大浜集会所前' and '中之浜バス停前'.

生後九十一日以上の飼い犬は毎年一回の登録と狂犬病予防注射が法律により義務づけられています。犬を飼っている方は、番犬・猟犬・愛がん犬を問わず、もよりの場所です必ず受けてください。

○料金
登録料 二千五百円
狂犬病予防注射料 四百六十円
合計 四千六百円
○実施場所と日時
上記日程表のとおり
○注意事項
●犬を自由に扱える人が連れられてきてください。
●注射をいやがる犬がいますので、首輪をしつかり締め、引綱は丈夫なものを使ってください。
●できるだけ釣り銭のいらないうちからお預りします。

愛犬を病気から守りましょう

犬の登録と予防注射

町内の交通事故

(4月1日現在)

発生件数.....16件 (3月.....5件)
負傷者数.....3人 (3月.....1人)

最近、子供とお年寄りが犠牲となる痛ましい事故が多く発生しております。子供は視野が狭く、周りのものが目に入らないまま飛び出したり、お年寄りは、とっさの時に体が動かなくなっていることがあります。
「子供とお年寄りは動く赤信号」子供とお年寄りを見たら徐行や一時停止をして、安全を確かめて運転しましょう。
伊方・町見駐在所

まごころ銀行

六十三年度の区長会(二宮長幸会長)から、会費の一部三万八千三百八十円。
湊浦の佐々木一興さんから、一万円。
古屋敷の井根ハヨヨさんから、農業後継者結婚相談員報酬一万七千円。
大成の二宮都子さんから、農業後継者結婚相談員報酬一万円。
それぞれ、ご寄付いただきました。厚くお礼申し上げます。

お礼

人の動き

元成元年3月1日現在
世帯数2,636戸(-1戸)

人口 8,347人 (男4,053人(+4人) / 女4,294人(-4人))

えんむすび

平成元年2月1日
氏名 本籍地
2月28日

お誕生おめでとう

よい子に育ってください
平成元年2月1日
保護者 続柄 見名
12月28日

おくやみ

労働保険料の申告納付はお早めに

事業主のみなさん、今年も労働保険料の申告・納付の時期になりました。「労働保険料概算、確定保険料申告書」E L 2 2 - 1 7 5 0) により、5月15日の期限までに、申告・納付してください。

平成元年2月1日
2月28日
死亡者 年齢 住所

こいのぼりによる感電事故に気をつけて!



お子様の元気な成長を祝う「こいのぼり」の季節が近づきました。おたてになるときは次のことに注意してください。
○こいのぼりや吹き流しが、電線に巻きつかぬよう、電線から十分離れた所にててください。
○サオは金属製のものより、よく乾いた竹や木のものにしましょう。
○万一、こいのぼりや吹き流しが、電線に巻きついたり、サオが電線に倒れかかったときは、絶対に手を触れないで、すぐに四国電力伊方営業所(T E L 3 8 - 0 0 0 7)へご連絡ください。

こちら編集室

四月一日付の人事異動により広報担当者が、兵頭から門田に代わりました。
広報紙は町民のみなさまと町行政を結ぶパイプ役として重要な役割を果たすもので地方自治体にとって欠かすことのできないものの一つであります。
みなさまに親しまれる広報紙づくりに努力いたしたいと存じますので、今後とも、広報編集にご理解とご協力をお願いいたします。
なお、楽しい話題やご意見がありましたらご連絡ください。